

令和5年度

# 赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和5年4月21日(金)

校長 高橋 励



Dear Student(\*^\_^\*)

## 春の大会を見て思うこと



先日の土日の春の大会、曾田教頭と分担して観戦に回らせてもらいました。勝負ごとですから勝ち負けはありますが、それはさておき

会場を回る中で感じたことがあります。

それは、“試合に向き合う志の高さは勝敗よりも価値がある”ということ。

例えば、女子バスケットボールの試合。勝負は大差をつけられての負けでしたが、対戦相手は最後までしっかりと勝負してくれました。そして何より、赤中の選手は最後のブザーが鳴るまで、しっかりと目の前の相手に向き合い、一緒に見ていた曾田教頭を感激させる闘いぶりを見せてくれました。

また、男子ソフトテニスで、赤中の選手が“失礼な振る舞い”をする選手(&応援)という場面(たぶん自分だったらムカッときていたと思います)に出くわしたのですが、素敵だったのは赤中チームの態度。彼らが自分たちの判断でとった振る舞いは、仲間に励ましの声をかけ、気持ちを

ポジティブに持っていこうとするものでした。個人戦の第1回戦。片隅のコートでの



出来事でしたがチームとしての素敵さを見せてもらいました。新たに入学した1年生につないでほしいバトンです。夏の大会が始まるまでおよそふた月。技を磨くことも大切ですが、それ以上に気持ちのよいプレイヤーとして自分を磨いてほしいと願っています。

～保護者の皆さまへ～

## 懇談会へのご参加

### ありがとうございました。

出張と重なりご挨拶ができませんでしたが、多くの方に足を運んでいただきました。学年懇談会では、お子様の学校での様子や今後の行事予定についてお伝えするとともに、評価・評定の考え方が保護者の皆さまが中学生だったころと変わっていることを話題とさせていただきます。わたしのご挨拶代わりに用意させていただいた「赤羽根の里だより特別号」にも少し触れさせていただきました。学校HPに載せましたのでご関心のある方はご覧ください。



Dear Student(\*^\_^\*)

## 行事から学ぶことは?

18日(火)に1年生は学年でズーラシアへ行ってきました。さて、1年生の皆さん。この日1日で学んだことはどんなことでしたか?

行事から学び取れることは人によって違います。そして経験したことの“意味”



や“価値”は自分が見つかるものです。学校では体育祭の準備も始まっています。きっと上級生がよい学び方を見せてくれるはず。あなたにとって多く得るものが見つかる豊かな行事を創っていきたいですね。